



# 清吟堂吟友会

## 出雲ブロック会報

### 信 条

- 詩歌を吟じて 楽しみましょう
- 詩歌を吟じて美しいものを見出しましょう
- 詩歌を吟じて明るい郷土を築きましょう

発行 清吟堂吟友会出雲ブロック 広報部 第21号 平成29年5月1日

### 清吟堂吟友会出雲ブロック創立四十周年記念特集号

## 吟 剣 詩 舞 道 大 会



### 大会会長あいさつ

清吟堂吟友会出雲ブロック

会 長 土江 清 眞

多数の皆様にご来場いただき、まことに有難うございます。厚くお礼申し上げます。本日ここに清吟堂吟友会出雲ブロック創立四十周年記念吟剣詩舞道大会が盛大に開催出来ました事は、関係各位のご指導とご支援並びに会員の皆様のご努力の賜と心から感謝申し上げます。

顧みますと、私も出雲ブロックは、昭和五十二年に大社町の片隅で小さな産声を上げて以来、次々に吟声の輪が広がり、現在では三十六支部・教室、会員数二百五十名を数え、各種の大会でも優秀な成績を挙げ等、質・量共に大きな成

長を遂げることができました。これも発足当初より浜田ブロックの講師先生を始め、先輩諸氏による熱心なご指導・ご支援に併せ、清吟堂吟友会本部の力強いバックアップのお陰であると、改めて深く感謝の意を表する次第であります。私たちは、日ごろ古今の名詞・名歌の奥深い心情や情景に感動して声を発する詩吟を通して、礼節を重んじ、自らを磨き、吟友との心のふれあいと和を大切にしたい吟詠活動を展開するとともに、明るく楽しい地域社会づくりに努めることを目的としております。引続き、更なる吟友の輪の拡大

と他の文化団体との積極的な交流を図り、出雲市の文化振興の高揚にも少しでも寄与できればと念願しております。関係各位のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

さて、本日は「平成の大遷宮」により、ご本殿が麗しく清新な容姿に蘇りました出雲の地より「神々の集う国 出雲から」と題した特別構成吟詠を企画いたしました。その他、記念吟剣詩舞として趣向を凝らした演目も披露させていただきますので、ごゆっくりご覧賞くださいませようご案内申し上げます。

終わりに、本大会開催に当たり、ご支援・ご指導いただきましたました出雲市、関係機関、報道関係各社、並びに清吟堂吟友会本部の皆様へ深甚なる謝意を表し、お礼を申し上げます。

### 大会次第

開 会	9時30分
閉会宣言	村田寛友
国歌斉唱	
信条・会詩吟	石黒海風
黙祷(物故者に対して)	
村上清峰	
吟 詠	9時40分
少年合吟	
優秀吟士吟詠(平成二十八年 度清吟堂吟友会吟士権決 勝大会入賞者)	
平成二十八年 度全国合吟フ ンクル出場者合吟	
記念式典	10時15分
主催者あいさつ	土江清眞
表 彰	
来賓祝辞	
来賓紹介	
閉会のことば	森山清雲
祝いの舞	
祝 吟	
主催者吟詠	
来賓吟詠	
記念吟剣詩舞	11時10分
剣舞 詩舞 書道吟	
華道吟 茶道吟	
特別構成吟詠	11時40分
大合吟	
万歳二唱	高田清慶
祝 賀 会	12時45分
	15時終了



土江清真出雲ブロック会長挨拶



来賓長岡秀人出雲市長祝辞



長岡出雲市長、清吟堂吟友会宮内会長他多数の来賓を迎え、  
 会員二〇〇余りの出席のもと、吟詠、式典、記念吟剣詩舞、特  
 別構成吟詠そして祝賀会と朝から皆さん喜びのあふれる一日を  
 過ごすことが出来ました。



# 多彩な催しで 大会魅了

と き 3月19日(日)  
 と ころ 朱鷺会館ホール

少年合吟

九月十日 菅原 道真

去年の今夜清涼に待す 吟

秋思の詩篇独り断腸

恩賜の御衣今此に在り

棒持して毎日余香を挿す



黒目加奈子

荒木穂乃佳

平井 邑采

北村 直樹

大國 快徒

北村 未来

大國 遥叶

大國 結士

優秀吟士吟詠

(第六十三回清吟堂吟友会吟士権決勝大会入賞者)

1 早に白帝城を発す 李白

初段の部第三位

2 江南の春 杜牧

初段の部優勝

3 山房春事 岑参

四段の部入賞

4 海南行 細川頼之

五段の部優勝

5 桑乾を渡る 賈島

六段の部準優勝

6 桑乾を渡る 賈島

指導者一部入賞

7 弘道館に梅花を賞す 徳川景山

指導者三部入賞

平成二十八年度 全国吟詠コンクール出場者吟詠(日本武道館)

後夜仏法僧鳥を聞く 空海

閑林独坐す草堂の暁

三宝の声一鳥に聞く

一鳥声有り人心有り

声心雲水俱に了々

吟

橋本 邦風

片寄 利風

三成 俊風

高橋 信行

児玉 春雄

樋野 朝生

高橋 充男



# 記念式典

## 表彰

### ○特別功勞表彰

清吟出雲支部 森山 清雲  
 出雲中央支部 伊藤 圭風  
 平田第一支部 土江 清眞

故 加谷 麗繁  
 山崎 清芳

### ○功勞表彰

頓原支部 本間 麗栄  
 四路支部 高田 清慶  
 琴引支部 片岡 麗鳥  
 たんぼ支部 村田 麗友  
 出雲中央支部 布野 麗華  
 斐川支部 村上 清峰  
 ハーブ支部 三島 麗静  
 頓原支部 本間 麗栄

## 来賓紹介

出雲市長 長岡秀人様  
 出雲市議会議長 長廻利行様  
 出雲市教育長 横野信幸様  
 出雲市文化団体連合会会長 渡部良治様  
 清吟堂吟友会名譽会長 宮内清興様  
 清吟堂吟友会会長 二神清竜様  
 島根県吟詩舞道総連盟理事長 森川清明様  
 清吟堂吟友会副会長 森川芳風様  
 清吟堂吟友会副理事長 大越清透様  
 清吟堂吟友会島根西部本部長 小田川麗生様  
 清吟堂吟友会邑智ブロック本部長 山田爾風様  
 清吟堂吟友会大田ブロック会長 山田麗祥様  
 清吟堂吟友会松江ブロック会長 和田眞風様  
 清吟堂吟友会安来ブロック会長 神田清峰様  
 瀬尾毅風様



祝いの舞



## 祝吟

### 主催者祝吟

富士山 石川丈山  
 清吟堂 吟友会 出雲ブロック会長 土江 清眞

### 来賓祝吟

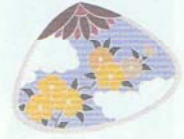
宝船 藤野君山 島根東部本部長 山田 爾風  
 清吟堂 吟友会 鳥根西部本部長 小田川 麗生  
 祝四十周年 築山置石  
 清吟堂 吟友会 副理事長 大越 清透  
 寒梅 新島 襄  
 清吟堂 吟友会 副会長 森川 芳風  
 宝船 藤野君山 名譽会長 二神 清竜

### 祝賀の詩

鶴鶴樓に登る 王之 渙  
 清吟堂 吟友会 景山  
 弘道館に梅花を賞す 徳川 景山  
 清吟堂 吟友会 会長 宮内 清興

四海波平かにして瑞煙漲り 吟 荒木 麗幸  
 五風十雨桑田を潤す 曾田 麗翠  
 福は東海の如く杏かに際なく 森山 麗由  
 寿は南山に似て長えに齎けず 藤原 麗映  
 鶴は宿る老松千載の色 岩谷 麗芙  
 魚は潜む江漢万尋の淵 大田ブロック 松江ブロック  
 芙蓉の雪大嬴の水 舞 清水 翠洗  
 神州に磅礴して九天に輝く 須藤 李翠  
 矢野 桃翠

# 記念吟剣詩舞



## 剣舞

不識庵機山を撃つの図に題す

鞭声肅々夜河を過る  
暁に見る千兵の大牙を擁するを  
遺恨十年一剣を磨き  
流星光底長蛇を逸す

頼山陽

橋本 泰明  
高橋 信行  
児玉 春雄  
樋野 朝生  
服部 倫史  
吉田 滉風  
安来ブロック  
田中 翔

## 書道吟

松竹梅 松口 月城

寿福愈開く松竹梅  
君が家今日はれ蓬萊

幾千代のちぎりなるらん常盤なる  
松の木梢に鶴の巢ごもり

亀遊び鶴舞い人還酔う  
無限の歎懐玉杯に在り

吉川 麗京  
吉岡 麗泉  
内藤 麗典  
板垣 律子  
小村 純子  
安田 経子  
山崎千恵美  
布野 麗華

## 華道吟

華道 松口 月城

華道親しみ来る瓶器の前  
此の時無我正に仙の如し  
春花秋草四時趣き  
盤上移し看る大自然



剣舞



書道吟

華

青木 溪風  
坂根 真風  
石飛 紅風  
太田 秋風  
三成 俊風  
大野 宏風  
山本 樹風  
石崎 弘美  
石飛 佑次  
三成 淳夫  
北村 麗敬  
原 麗須  
三成 歳子  
佐藤 幸子

## 茶道吟

茶道 松田宗安

閑庭友と会し団欒に座す  
杓を構えて心を澄まし白紙を捌く

花をのみ待つらん人に山里の  
雪間の草の春を見せばや

一椀捧げ持ちて千古去り  
三服傾け盡して百憂寛ぐ

茶の湯とは只湯をわかし茶を立てて  
呑むばかりなる事と知るべし

庵中静かにして松籟を聞く  
窓外空晴れて翠欒を望む  
静寂炉を囲む和敬の気  
慇懃味わい得て無塵の歎



華道吟



茶道吟

三島 麗静  
糸賀 麗美  
濱村 麗帆  
花田 麗華  
舟木恵津美  
佐藤 麗愛  
持田 麗美  
点前  
運び

# 特別構成吟詠

## 神々の集う国 出雲から

私たち、吟清堂吟友会出雲ブロックは、本年四十周年を迎える事になりました。発足以来、先輩方の並々ならぬご努力により今日を迎えることが出来ました。本日は、輝かしい四十周年に当たり喜びと感謝を込め、「神々の集う国 出雲から」と題しての構成吟をお送りいたします。

構成 加谷 麗繁  
森山 清雲  
ナレーター 吾郷 麗花



まず始めに、神々の象徴「富士山」から紐解いて参りましょう。霊峰富士は、いつの世にも私たちの心であり、日本一の山とたたえられています。

### (1) 富士山 石川丈山

仙客来り遊ぶ雲外の巔  
神竜棲み老ゆ洞中の淵  
雪は紬素の如く煙は柄の如し  
白扇倒しまに懸る東海の天

吟 平井 椋太  
杉原 麗蓮  
岩崎 幸子  
大國 裕子  
加谷真理子  
錦織 千枝  
勝部美穂子

古事記では、出雲の国の創生を物語る「国譲り神話」があります。スサノオミコトから国を引き継いだオオクニスミノミコトが、高天原から派遣されたタケミカヅチノミコトを迎えて国譲りを決意します。この国譲り、国引きの舞台が稲佐の浜と云われています。

### (2) 稲佐の浜 中田雪荘

一帯の長汀浪は沙を巻き  
滄溟極目渺として涯て無し  
古えの初めに禪讓の約成れる地  
史績独り郷曲の誇り為らんや

吟 森山 清雲  
土江 清眞  
吾郷 清翠  
若林 麗恒  
中嶋タイ子

天照大神の支配する高天原に対して、人の住む世界を「葦原中国」と云い、オオクニスミノミコトはこの国で功績を上げ、出雲の地に神殿の建設を許されます。神々が神殿をつくる為に集まり、土地を杵築で突き固めたことから「出雲大社」は「杵築大社」とも呼ばれオオクニスミノミコトは「出雲大社」の主神とされています。

### (3) 出雲大社 大野恵造

八雲たつ八雲たつ拝殿はあり大社  
懸けわたす真太なる注連は清しかり  
金鈴の網太きもたのものし  
恵みいや深き大國主命  
緑したたる亀山鶴山をば負いて  
この奥殿にぞ在します  
ここはまた歳に一度八百万の神々つどいて  
妹背の縁を結び給うところなり  
併せて諸人に領つ福徳をも議し給う  
晴れがましや賑賑しや八雲たつ  
八雲たつ出雲の国の八重垣の裡

吟 村田 麗友  
片岡 麗鳥  
周籐 麗恭  
佐野 麗和  
本田 麗民  
土江 麗松  
平井 麗翠  
表森田麗菜  
多和和淑子  
川上 恵子



稲佐の浜



富士山

オオクニヌシノミコトは大黒様とも呼ばれ因幡の白ウサギを救ったことから医療の神、商売繁盛の神、子宝に恵まれたことから縁結びの神として祭られています。毎年十月には出雲では「神有月」と云い、全国の神様を稲佐の浜に迎え、「神迎え」の神事を行います。



出雲大社

(4) 「俳句」神集う 来間歌史

神集う 国原雲の 彩ふかし

吟

桑原 青風  
村上 清峰  
橋本 邦風  
原 實風  
嘉藤 竹風

神々の時代には幾つもの戦いがあり、そして現代でも世界のあちらこちらで争い事が続いています。中国古代の大国、秦の始皇帝は紀元前二二一年中国史上初の天下統一を成し遂げました。この国の寿命を維持する為、国中の戦いの武器を都に集めて鑄造して人体を作り、天地の平安を祈ったそうです。

(5) 秦紀を読む 新井白石

霜刃一たび銷して皆秦に入る  
咸陽の銅狄為に神を伝う  
言うこと莫かれ天下渾て無事なりと  
猶お江東剣を学ぶの人あり

吟

舞

北村 麗敬  
佐藤 麗雪  
岩滝 麗民  
吉田 麗篤  
吉田 湜風

私達の日本も戦争から立ち直り七十年が過ぎました。平和を祈り今を生きる私達出雲ブロック会員二百五十余名は、この神々の集う出雲から明るい吟声と共に美しい日本、美しい心を発信していきたいと思えます。



秦紀を読む



「俳句」神集う

# 大合吟

## 『出雲ブロック創立四十周年を祝す』

浜田ブロック 郡 清嶂



社殿瓊楼土神に賽す

出雲の大地総て春となる

龍吟一詠歌偏に勝れ

鳳舞千金舞更に新たなり

盟友増強何ぞ太だ喜ばんや

吟園連合し正に相親しむ

銀觴玉膳香醪に酔う

四十周年瑞辰を慶す



## 万歳三唱

大会名誉副会長

高田清慶

# 清吟堂出雲ブロック40周年祝賀会



午前中に清吟堂吟友会出雲ブロック創立四十周年記念吟剣詩舞道大会が、大成功裏に終了し、会員の皆様の達成感あふれる顔・顔・顔。そんな雰囲気の中で、午後の祝賀会が始まりました。

祝賀会委員長桑原青風氏の開宴あいさつ・総務委員長伊藤圭風氏の乾杯音頭の後、民謡・カラオケ・踊りありの多彩な出し物は、プロ級あり、ユリモアあふれる踊りありで、多忙の中、よくぞここまで練習稽古を重ねてこられたものと、観客をおおいに魅了し楽しませていただきました。会員の皆様の強い絆の基に、清吟堂吟友会出雲ブロック創立四十周年記念吟剣詩舞道大会式典・祝賀会が大盛り上がりの中は過ぎて行き、大会会場委員長高野公風氏により、万歳三唱：めでたく大会の幕を下ろすことが出来ました。







# 平成二十八年 度全国吟詠合吟 コンクールに参加して



島根県男子チーム 清吟出雲支部 高橋 充男

予選を経て、三十五名の精鋭は五月五日出雲大社に於いて、

必勝祈願が行われました。社務所研修室に移動して、結団式が実施され各々自己紹介と決意表明をした後、さっそく課題曲「後夜仏法僧鳥を聞く」を練習し、これから全国大会で頑張ろうという思いでいっぱいでした。

毎月一回の練習には、早くから役員の方々が会場の準備や茶菓の用意をしていただき、有難く感謝と共に皆様には、頭の下がる思いでいっぱいでした。練習の回を重ねることに出場者の皆さま方とも次第に意思疎通がうまく行くようになり、九月三日、四日の国立三瓶青少年交流の家での一泊二日の研修には、他の支部の皆さま方達とも親しくなり「一期一会」の出会いに感謝するとともに練習にも熱が入りました。いよいよ練習も佳境に入り、先生方の指導にも力

が入り熱のこもった練習が続きました。

その中でも非常に残念な事は、ズーっと一緒に練習に参加していただき、熱心に厳しくご指導いただいた栗林清典先生がお亡くなりになった事です。私も三十五名は驚くとともに非常に残念でなりません。私

練習返し練習することの大切さや武道館に向けての心構えを覚えていただき決意を新たにしました。九月二十五日には、松山市民会館において第六十三回清吟堂大会が開催され、本番同様の出場に一同緊張しましたが全員が一致団結し、心が一つになった瞬間でした。十月二十九日貸切バスにて、一同三十五名と宮内会長を始め役員の方々と共に一路武道館に向かいました。当日は遅くなったためホテル直

行。三十日は、本番の日であり靖国神社に参拝し、吟を奉納し武道館に向かいました。今までの集大成として互いに全力を出し切り、声をそろえて吟じましたが入賞には至りませんでした。全員が無事舞台上に立てたことを喜び合いました。

残念な事は、栗林清典先生に入賞の報告が出来なかつたことが非常に悔いが残りました。この度の大会に島根県男子の一員として参加させていただき、毎日練習することの大切さ、大きい声を出して吟ずることの大切さ、吟ずる心・詩の心を読み取って吟ずることの大切さを学びました。

今回は、もっと練習を積み重ね機会があればリベンジを図りたいと思います。これまで、ご指導をいただきました宮内会長先生を始め、諸先生方並びにお手伝いをしていただいた役員の方々に心より感謝とお礼を申し上げます。今回出場された皆さま方は、年に一度は交流を図ることを約して帰路に着きました。皆さま本場に有難うございました。



平成28年10月30日（日） 全国吟詠合吟コンクール 日本武道館



# 第48回 全国吟剣詩舞道大会

主催/公益財団法人日本吟剣詩舞振興会 後援/文化庁・公益財団法人日本武道館・NHK



『第48回 全国吟剣詩舞道大会』於：日本武道館  
吟題 “名和長年／安藤 残雨” 2016年10月30日  
清吟堂吟友会 出雲・松江・安来ブロック



## 全国吟剣詩舞道大会 に参加して

あじさい支部 伊藤 美雪

昨年十月二十九日、三十日に、第四十八回全国吟剣詩舞道大会が日本武道館で開催され、中国地区推薦で出場させていただきました。

一日目は、津軽三味線の吉田兄弟の演奏と吟詠、剣詩舞スーパーチームとの共演があり、心に響くすばらしいコラボレーションでした。

その他、外国人による吟詠、剣詩舞。

特別企画として、盛唐の二大巨星 李白と杜甫の物語を吟剣詩舞で表現された「すいしん」の上演がありました。超一流の方々の吟詠は、朗々として迫力があり、剣詩舞と合せることでより美しく調和して、まさ

に「吟と舞の祭典」に相応しいものでした。

二日目は、吟詠合吟コンクール。全国から様々な流派の四十九団体が出場され、男子、女子それぞれに特徴ある見事な発表でした。

その後いよいよ私たちの「名和長年」です。舞台袖でドキドキしながら待ち、あつという間の二分間でしたが、練習の成果を発揮できたと思います。九月から計三回の合同練習では、発声練習や言葉づかいなど、

沢山の気づきをいただき、奥深さを再確認しました。縁あって詩吟を始めてから三年目の若輩ながら、武道館の舞台に立たせていただき、大変感激しました。

次に、全国コンクールの

優勝者の皆様の見事な吟詠、剣詩舞の披露があり、結の挨拶では、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック大会の開会式での国歌斉唱を、是非吟詠家に!!との言葉が印象的でした。

この「吟と舞の祭典」武道館大会に、沢山の方が参加されることを期待します。

最後になりましたが、ご指導いただきました森山清明先生、故加谷麗繁先生、北村麗梨先生、着付でお世話になりました荻田麗杏先生に感謝申し上げます。

夢のような二日間、ありがとうございました。



平成二十九年出雲ブロック総会

サン・アビリティーズいずも

今年は例年に比べると桜の開花が遅かったが、やっと満開  
まじかの四月八日(土)に四月の支部長会終了後二時より開  
催されました。

二十八年度の事業、決算報告と二十九年度の事業計画、予  
算の審議がなされ提案審議は拍手をもってすべて承認される  
と共に新しい役員が選任されました。

はじめに土江会長より挨拶があり、先般開催の「出雲ブロック創立四十周年記念吟剣詩舞道大会」が会員各位の思いが結集され、感動的で心に残るすばらしい大会になった。とのお礼の言葉が述べられました。

ついで、会則により会長が議長となり議事に入り、平成二十八年度事業報告並びに収支決算報告が承認されました。続いて役員改選が行われ、橋本邦風、高野公風の両氏が新しく副会長に選任されました。

新副会長の決意表明を受けた後、平成二十九年度事

業計画案並びに収支予算案が承認されました。

この後、新年度出雲ブロックの各担当局長、部長、副部長が会長より委嘱され、新しい運営体制が決まりました。最後にこの一年間に会員増強に尽力された方々へ「吟友賞」が贈呈され、通常総会を終了しました。



会員増強奨励表彰

平成二十九年四月八日、出雲ブロック総会において会員増強に尽力された次の十二名が土江出雲ブロック会長より表彰を受けられました。

表彰された方々

- ラビタ 石飛 勝
- 平野第二 青木 溪風
- 宍道 勝部 弘子
- 今市 須山 昌
- 平田第一 高橋まゆみ
- 国富 阿式 良憲
- 佐田 板垣千佳子
- 里方 荒木 麗幸
- 里方第二 (一人新規入会)
- 是光 順子
- 須原 吾郷須磨子
- J.A.いずも 高野 真哲
- 里方 平井 麗翠

平成29年度出雲ブロック行事予定

月日	行事	場所	月日	行事	場所
4月8日(土)	ブロック通常総会、ブロック支部長会	サン・アビリティーズいずも	10月7日(土)	ブロック支部長会	
5月6日(土)	ブロック支部長会	高浜コミセン	10月22日(日)	寿栄大会	安来市
5月14日(日)	全国吟詠コンクール島根県予選大会	松江総合福祉センター	11月4日(土)	ブロック支部長会	
5月18日(木)	本部常任理事会、本部通常総会	松山(いよてつ会館)	11月15日(水)	第64回清吟堂吟剣詩舞道大会	松山市民会館
5月28日(日)	出雲地区吟士権大会	平田文化館	11月25日(土)	出雲地区段位審査会	斐川文化会館
6月3日(土)	ブロック支部長会		12月2日(土)	ブロック支部長会	
6月3日(土)	会員増強対策会議 第1回		12月2日(土)	会員増強対策会議 第2回	
7月1日(土)	ブロック支部長会		1月6日(土)	ブロック支部長会	
7月23日(日)	指導者吟士権 島根県東部大会	松江市	1月21日(日)	ブロック新年賀会	ラビタウェディングハルス
8月5日(土)	ブロック支部長会		2月3日(土)	ブロック支部長会	
8月27日(日)	指導者・吟士権決勝大会	松山市	2月18日(日)	29年度育成会	斐川文化会館
9月2日(土)	ブロック支部長会		3月3日(土)	ブロック支部長会	
9月17日(日)	島根特別研修会	大田市			

## 平成29年度出雲ブロック役員表

役職名	部長	副部長
会長	土江 清 眞	
副会長	橋本 邦 風	
副会長	村田 麗 友	
副会長	高野 公 風	
事務局長	佐藤 麗 雪	
事務局 会計担当部	曾田 麗 翠	吉岡 麗 泉
// 育成担当部	原 實 風	三成 俊 風
// 吟士権担当部	嘉藤 竹 風	増田 昇 風
// 段位担当部	青木 溪 風	来間 重 利
// 寿栄担当部	名原 正 風	青木 茂 夫
// 事務局担当部	高橋 充 男	園山 孝 風
指導研修局長	森山 清 雲	村田 麗 友 (兼務)
		橋本 邦 風 (兼務)
// 伴奏担当部	岩滝 麗 民	土江 麗 松
// 剣詩舞担当部	平井 麗 翠	表森田 麗 菜
組織運営部	桑原 青 風	荒木 麗 幸
女性部	平野 麗 美	三成 歳 子
広報部	片奇 利 風	石崎 弘 美
会計監事	松井 瑛 風	
//	岩谷 麗 芙	
常任顧問	高田 清 慶	

■新任

## 支部・教室別会員数

平成29年 3月31日

支部・教室名	会員増強委員名	開設年月	会員数	支部・教室名	会員増強委員名	開設年月	会員数
1 出雲中央	伊藤圭風	昭和53年2月	5	20 今市	佐野麗和 須山 昌	平成14年12月	13
2 平田第一	三成俊風	昭和53年4月	15	21 たんぼぼ	村田麗友 増田昇風	平成15年8月	6
3 頓原	安部麗雨	昭和58年6月	8	22 JA いずも	高野真哲	平成16年5月	11
4 斐川	多々納均	昭和61年5月	9	23 メタセ	佐藤麗雪 矢田麗実	平成16年5月	6
5 稗原	吉田麗篤	昭和63年7月	9	24 蛇島	桑原青風	平成16年11月	5
6 西平田	三成歳子	平成元年11月	10	25 さつき	北村麗敬	平成17年6月	2、少5
7 里方	吉川麗京	平成2年6月	12、少2	26 佐田	板垣律子	平成18年1月	5
8 宍道	持田麗美	平成3年3月	8	27 富	北野悦子	平成18年8月	6
9 清吟出雲	森山清雲 石崎弘美	平成3年4月	8	28 御衣黄	杉原麗蓮	平成18年9月	4
10 ラピタ	石飛佑次	平成3年4月	8	29 神名火	飯野鋭裕	平成19年1月	7
11 神西	布野年雄	平成4年4月	5	30 平田東	橋本邦風	平成21年3月	4
12 四絡	高田清慶	平成5年4月	7	31 神名火第2	岩滝麗民	平成21年4月	5
13 平田第二	渡部 実	平成5年4月	6	32 琴引第2	安部麗雨	平成22年4月	4
14 ハーブ	三島麗静	平成8年4月	1	33 国富	阿式良憲	平成23年7月	8
15 琴引	片岡麗鳥	平成13年10月	5	34 里方第2	荒木麗幸 錦織千枝	平成25年4月	6、少3
16 平野第2	川田麗川	平成13年10月	6	35 なでしこ	多久田秀實	平成25年5月	3
17 いずも	吾郷清翠	平成14年1月	5	36 あじさい	藤原麗映	平成26年6月	3
18 吉場	立花裕子	平成14年12月	4				
19 平田第三	渡部武風	平成15年2月	3				

合計 一般会員 232名 少年会員 10名